

「デジタル活用による地方創生実践セミナーin愛媛」を開催

「自治体と企業がともに見つける 地域課題解決のヒント」

- 四国総合通信局と四国情報通信懇談会は、令和8年2月2日(月)、地域におけるデジタル実装の推進を目的として、松山市内において「デジタル活用による地方創生実践セミナーin愛媛」を開催しました。
- 本セミナーでは、地域ニーズの高い分野の先進的なDX事例、DX推進計画策定中の自治体の取組状況等の紹介とともに、新たな取組みとして自治体の課題に対し、企業からDXによる解決方策の提案を行うグループトークを実施し、両者の連携のきっかけ作りを提供しました。(自治体・企業から計62名が参加。)

■ オープニングトーク

四国総合通信局から、地方創生の推進に向けて、地域デジタル実装に取り組む際のポイントについて、総務省のデジタル化支援施策紹介と併せて説明。

■ 先進的なDX事例発表

【交通分野】NTTビジネスソリューションズ(株) 自動運転担当部長 宮崎 一 氏から、「未来の地方公共交通自動運転バスの現在地～高知市自動運転レベル4検証～」と題し、運転手不足を背景とした自動運転の概要及びLIDER(赤外線センサー)等の通信技術の検証状況を、また、高知市 交通戦略課長 出口 忠彦 氏から「こちたくで変わる移動の未来～高知市地域タクシーアプリ「こちたく」の導入～」と題し、バス・タクシー利用増進につながるアプリの導入状況について発表。

【医療・健康分野】東温市 地域活力創出課 課長補佐兼企業振興係長 氏部 直人 氏から、「とうおんスマートヘルスケア創出事業の取組と課題～医療DXによる健康日本一のまちづくりの実現に挑戦！～」と題し、健康医療創生を目的に、MaaS車両を活用したオンライン健康相談・健康講座の取組状況について発表。

【観光・地域活性化分野】(株)hacomono シニアプロジェクトリーダー 特手 大輔 氏から、演題「「空き家×民泊DX」を地域の成長エンジンへ転換する」と題し、空き家の有効活用を目的とした民泊DXの事業概要について講演。

■ DX推進計画策定中の自治体から取組紹介



愛媛県内子町
企画情報課 主査
岡岡 康平 氏



愛媛県久万高原町
総務課 課長補佐兼
デジタル戦略係長
菅 壮一郎 氏



徳島県石井町
まちづくり推進室 主事
龍門 奈都 氏

令和7年度「地域社会DX推進パッケージ事業(計画策定支援)」に採択された管内3自治体から地域課題の洗い出し状況やその解決に向けたデジタル活用の検討状況について報告。



■ 自治体と企業のグループトーク

香川大学 情報化推進統合拠点 DX推進研究センター 教授 米谷 雄介 氏を「総括ファシリテーター」に、自治体が事前に挙げた2つの主要課題をテーマとして、3グループに分かれてグループトークを実施。自治体からは、各分野の課題、解決したいことや、企業からアイデアをもらいたいことなどを説明。企業からは自社のソリューションの提案や他地域での導入事例等を説明し、解決方策について議論・共有した。



〈グループトークの様子〉



〈出た意見や感想の共有〉

■ 参加者の声(アンケート抜粋)

- ・他企業および自治体が同時に話す機会はありませんでした。
 - ・自治体様の課題を直接聞けて参考になった。
 - ・今回のようなワークショップは、地元のIT業界の活性化にもつながる素晴らしい取り組みだと思います。今後も同様の企画を検討いただきたいです。
- Q セミナー全体の満足度はいかがですか。

4.45

平均評価

